

仙台防災未来フォーラム 2016 に参加しました (2016/3/12)

テーマ：復興、防災・減災、仙台防災枠組
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2016年3月12日(火)に、仙台国際センターにて、仙台防災未来フォーラム2016（主催：仙台市、共催：国連国際防災戦略事務局（UNISDR）駐日事務所、後援：内閣府、復興庁、外務省、岩手県、宮城県、福島県、国際復興支援プラットフォーム（IRP））が開催され、当研究所からは以下の者が講演者やコーディネーター、パネリストとして、セッション等に登壇しました。

・テーマセッションC「東日本大震災の復興の方向性と内外への復興発信」

コーディネーター：丸谷浩明 教授（人間・社会対応研究部門）、報告&パネラー：平野勝也 准教授（情報管理・社会連携部門）、パネラー：佐藤 健 教授（情報管理・社会連携部門）

・テーマセッションE「被災地発の防災発信連携の可能性～継続・強化に何が必要か？」

コーディネーター：今村文彦 教授（災害リスク研究部門）、小野裕一 教授（情報管理・社会連携部門）、保田真理 助手（災害リスク研究部門）、中鉢奈津子 助教（広報室）

・テーマセッションI「地区防災計画フォーラム」

モデレーター：桜井愛子 准教授（情報管理・社会連携部門）

・ミニプレゼンテーション「地震津波リスク評価および総合的な軽減対応 - 産学の連携を通じて」

報告：山下 啓 助教（寄附研究部門）

・クロージング

コーディネーター：今村文彦 教授（上述）、パネラー丸谷浩明教授（上述）

また、ブース展示には、当研究所から以下の2グループが出展し、東日本大震災の復興に関する展示を行うとともに、防災・減災スタンプラリーを実施し、屋外及びブース展示に日産自動車株式会社等の協力のもと、電気自動車（EV）とポータブル蓄電池を展示しました。

・東北大学災害科学国際研究所 丸谷浩明 教授、寅屋敷哲也 助教（人間・社会対応研究部門）、村尾 修 教授（地域・都市再生研究部門）、平野勝也 准教授、小林徹平 助手（情報管理・社会連携部門）、保田真理 助手、サッパシアナワット准教授（災害リスク研究部門）、佐々木宏之 助教（災害医学研究部門）、山下 啓 助教、安倍 祥 助手、林 晃大 助手（寄附研究部門）、杉安和也 助教（リーディング大学院）

・東北大学災害科学国際研究所、ほか8団体 越村俊一 教授（災害リスク研究部門）

・東北大学学位プログラム推進機構グローバル安全学教育研究センター 松本行真 准教授、久利美和 講師、杉安和也 助教、地引泰人 助教（リーディング大学院）

このフォーラムには、オープニングからクロージングまでに約1200名が来場しました。

文責：丸谷 浩明、寅屋敷 哲也（人間・社会対応研究部門）

（次頁へつづく）



セッションC：コーディネーター
(丸谷教授)



セッションC：パネル発表
(佐藤教授)



セッションC：報告
(平野准教授)



セッションI：モデレーター
(桜井准教授)



ミニプレゼン：報告
(山下助教)



ブース展示の様子



電気自動車（EV）展示の様子



スタンプラリーの様子



クロージング：コーディネーター
(今村所長)